

優秀賞

高校生部門

岡山県浅口市

私立金光学園高等学校1年

豊田 茉佑

## 一生ものの言葉

私は、自分の名前が好きだ。また、人の名前の由来を聞いたり、名簿を見ながら名前の読み方を考えたりするのも好きだ。名前は、自分と切っても切れない縁で結ばれた言葉だと思う。もしかしたら、人生の中で一番使う言葉かもしれない。名前は、とても大事だ。「名が体を表す」とも言う。親の気持ちが届まった、自分だけの大切な言葉なのだ。

たまに、自分の名前は平凡だから嫌だ、と言う人がいる。しかし、その人に名前の由来を聞くと、とてもいい話が出てくることが多いのだ。優しい子になってほしい、賢い子になってほしい……。親の強い願いをたったの数文字に集約する。こんなに人の思いが詰まっている言葉はほかにはないだろう。私の名前は「茉佑」と書いて「まゆ」と読む。漢字は人名用漢字なのでわかりにくいと言われることもあるが、読み方はいたって平凡である。「蚕の繭のように人を包み守る人になってほしい」という親の願いから名付けられた。名付けてくれた親に感謝しているし、いつか由来通りの人間になりたいと思う。

きっと、名前に何も由来がないという人はいないはずだ。親の願いが詰まっているし、何かしら裏話がある。生まれてからすぐ、病院のベビーベッドにネームプレートをつけられる。死んでからは、墓石に名前が刻まれる。一生背負っていく言葉なんて、名前以外にはないのではないか。親からもらった一生ものの大切な言葉である名前。ぜひ、もう一度見直してみしてほしい。そして、自分の名前を大切に生きて行ってほしい。